

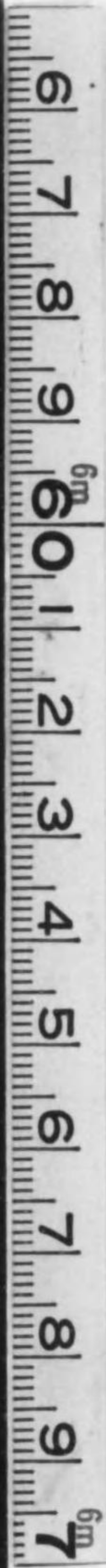
特252

891

勞務者讀書傾向調査

社団法人 日本圖書館協會編

始



特252
891

序

本協會は昭和六年以來優良新刊圖書の推薦紹介を行ひ來つたが、その傍ら包括的なる讀書傾向調査を企圖し、一年は東京市に於ける大圖書館の入館者、昨年は東京市に於ける主要百貨店並に簡易保險局の婦人従業員につき、之が調査を行つて好結果を得たのであるが、今回更に東京市に於ける左記各工場に依頼して、その勞務者の讀書傾向を調査したのである。之によつて都市に於ける勞務者の讀書傾向の一斑を察知することを得、前回の調査を併せて、讀書指導に資する所の多大なるを信ずるのである。

調査した工場は、海軍技術研究所、東京地方專賣局業平工場、東京鐵道局大井工場、内閣印刷局、陸軍造兵廠火工廠十條兵器製造所(以上官營)、淺野ヤメント株式会社深川工場、伊藤染工場、王子製紙株式会社十條工場、鐘淵紡績株式会社東京本店工場、三共製藥株式会社品川工場、大日本印刷株式会社市谷工場、内外編物株式会社蒲田工場、服部時計店精工舎、日立製作株式会社龜戸工場、藤倉電線株式会社(以上民營)、併せて十五工場である。

右各工場の御協力に對し、厚く感謝の意を表すると共に、今後讀書傾向調査の困難なる事業に對して、普く識者の御援助を冀つて已まない次第である。

昭和十一年三月

社團法人 日本圖書館協會理事長

松 本 喜 一

労務者讀書傾向調査

はしがき

東京市に於ける労務者の讀書傾向を調査するに當つて、各種の工業部門からその代表的なものを選んで、なるべく多くの工業部門に亘り得るやうにした。この調査の性質上勞務者の個々に就いて解答を求めたのであるが、これは工場の統制と勞務者各自の公共的關心に俟つことが頗る多いため、かなり困難なことであつたが、幸に各工場主又は主任者の盡力により民營工場に於ても所期に近い成績を擧げることができた。

調査の目的 東京市に於ける勞務者の讀書狀況を知り、圖書推薦並に讀書指導上の参考に資せんとするものである。

調査の準備 初め官營五工場、民營十二工場に對して、それぞれ主任者の助力を求め、十月中旬二八、二五〇枚の調査票を配布した。勞務者實數より多少多くなつてゐる。尙右の内特に工場當事者に於ても獨立に調査したいといふ希望のあつた官營二工場に對しては、倍數の調査票を送付した。配布總數は三二、六五〇枚である。然し民營工場中集票を得ないものが二工場あつた。

調査時日 時日は前回の調査と同様讀書の盛んな頃として十月を選んだのであるが、工場の營業上の都合により一定期日に行ふことは出来なかつた。十月中旬から十一月中旬に及んでゐる。然し從業者の出入のある時季でもないのでこの間の時日の相違は重要ではない。

調査項目 調査票記載項目は最後に掲げた調査票の如くである。解答は無記名。

調査票の作成に當つては、勞務者の讀書が必ずしも單行本によらない事情を顧慮し、新聞、雜誌をも重視した。

各欄内の項目の配列に必ずしも秩序を與へなかつたのは、些少でも優劣の感を起さしめないためである。作業の種類を問うたのは所謂熟練工、不熟練工を分けようとしたためであるが、これは解答者の個別的な主観的判斷の混入により所期の結果を得ることができなかった。

「主にどんな時にお読みですか」以下は従来の調査に試みなかつたものであるが、時間的に、又經濟的に比較的餘裕の乏しいと考へられる勞務者の讀書の調査に於ては重要な意味を有つと考へられる。

第一、第二、第三を除く各欄に於ては、同一人で二つ以上の項目に印を附したものが多し。各欄の百分比は第二、第三を除いてはすべてそれぞれの調査人員に對する百分比である。

調査人員 官營五工場 民營十二工場に配布した調査票二八、二五〇枚に對し、集票は官營五工場、民營十工場、總數一五五七三枚。これを官營と民營とに分けて見れば、官營では一、一〇〇に對し九、一八四、民營では一六、一五〇に對し六、三八九となつてゐる。この内年齢不明、性別不明その他の理由で除外したものが七七四枚あり、調査實數は官營八、六一二人、民營六、一八七人、合計一四、七九九人である。而してかくの如く、官營と民營とでは、勞務者全員に對する解答者の比率がかなり相違し、後者に於ては、集票の全然無い工場さへある位で、多少偏倚の危険があると思はれるので、以下の統計では總括表に對し、官營、民營の分類表を添へて置くことにした。

性別調・年齢別調

年齢別は前回の職業婦人讀書傾向調査の場合を參照し男子十八歳、女子十七歳までを少年期、男子二十五歳、女子二十四歳までを青年期、男子三十五歳、女子三十四歳までを成人前期、それを超える男女を成人後期に入れた。

官營に於て男子は成人前期最も多く、成人後期之に次いでゐるに對し、民營に於て青年期が最も多いのは、注意せらるべきであらう。

表一第 性別・年齢別調表

工場別	年齢別		少年期	青年期	成人前期	成人後期	合計
	性別	性別					
官營工場	計	男女	三二四	一、〇九九	一、九五〇	一、七五六	五、一二九
	女	男	六三二	一、六〇三	八九〇	三五八	三、四八三
民營工場	計	男女	九五六	二、七〇二	二、八四〇	二、一一四	八、六一二
	女	男	一、四二一	一、〇八七	六三二	五三三	二、九二一
小計	計	男女	二、〇九〇	一、六六九	一、二二三	五八六	三、二六六
	女	男	九三三	二、一八六	二、五八二	二、二八九	八、〇五〇
總計	計	男女	三、〇四六	五、四五八	三、五九五	二、七〇〇	一四、七九九
	女	男	二、〇五三	三、二七二	一、〇一三	四一一	六、七四九
官營工場	計	男女	一八・一	四六・〇	二五・六	一〇・三	一〇〇・〇
	女	男	二二・九	三七・二	二一・六	一八・三	一〇〇・〇
民營工場	計	男女	四三・五	五一・一	三三・八	一・六	一〇〇・〇
	女	男	一一・三	二七・二	三二・一	二八・四	一〇〇・〇
小計	計	男女	三〇・四	四八・五	一五・〇	六・一	一〇〇・〇
	女	男	一一・三	二七・二	三二・一	二八・四	一〇〇・〇

比百分同

女子の青年期に多いのは當然ながら、官營に於ては、成人前期が之につき、民營に於ては少年期がこれについてゐる。成人期の前後を合せて見るに、官營・男子ではその七二・三%、女子では三五・九%、民營・男子では三九・九%、女子では五・四%に當つてゐる。

學 歴 調

官營民營共に男子に於ては高等小學校卒業が最も多く、尋常小學校卒業が之につき、女子に於てはこの順序が逆になつてゐる。解答者中不就學は極めて少い。無記入は不明として百分比に於ては全然除外した。

第二表ノ一 學 歴 調 (總括表)

學 歴	性 別		年 齡		計	百 分 比
	男	女	子			
			少年期	成人前期		
小 學	108	840	948	1,554	655	27.4
尋 常 科	1	9	10	24	34	2.0
高 等 科	629	828	1,457	1,955	3,412	39.3
實 業 補 習 學 校	6	28	34	195	229	2.6
中 等 學 校	33	313	346	977	1,323	15.3
專 門 學 校	3	55	58	197	255	2.9
不 就 學	1	3	4	16	20	0.2
合 計	977	2,096	3,073	5,169	8,242	100.0
無 記 入	16	108	124	53	177	2.1
調 査 人 員	993	2,204	3,197	5,270	8,467	100.0

第二表ノ二 學 歴 調 (官營・民營工場別表)

學 歴	性 別		年 齡		計	百 分 比
	男	女	子			
			少年期	成人前期		
小 學	177	1,311	1,488	2,800	4,289	50.6
尋 常 科	1	11	12	27	39	0.5
高 等 科	26	556	582	1,715	2,297	27.8
實 業 補 習 學 校	9	37	46	195	241	2.9
中 等 學 校	15	199	214	600	814	9.8
專 門 學 校	2	51	53	189	242	2.9
不 就 學	1	3	4	16	20	0.2
合 計	251	2,172	3,132	5,237	8,403	100.0
無 記 入	9	108	117	53	165	2.0
調 査 人 員	260	2,280	3,249	5,290	8,568	100.0

252
927
14.799) 11.294 0.08
118392

愛讀新聞調

愛讀新聞に就いては全部を通じて餘り變動を見ないが、民營・女子に於て時事新報が最高となつてゐるのは或る工場に於て特に多いといふ事情によるものである。一人で二つ以上の新聞を読むものも勿論少くない。
無記入は一定した新聞を読まないものと見做すことができる。その百分比は男子は三・一%、女子は一〇・〇%となる。

第四表ノ一 愛讀新聞調(總括表)

主なる新聞	性別		少年		青年		成人		計	
	男	女	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
東京日日新聞	271	432	743	911	750	2,675	432	850	315	1,682
東京朝日新聞	231	365	632	735	601	1,999	365	579	207	1,206
讀賣新聞	249	394	614	622	394	1,879	318	584	168	1,204
報知新聞	123	228	297	297	313	961	200	283	108	639
時事新報	47	105	97	97	108	357	429	631	77	1,222
國民新聞	36	82	80	80	88	286	70	84	30	192
東京毎夕新聞	15	27	44	44	54	140	37	44	14	75
都新新聞	1	16	18	18	23	67	15	27	2	61
中外商業新報	7	17	16	16	9	49	17	27	1	33
無記入	50	65	55	55	82	252	229	250	129	675
調査人員	993	1,863	2,856	2,893	3,053	10,533	2,722	3,013	413	6,749
計	1,042	2,046	3,712	3,786	3,906	13,165	3,141	3,557	536	14,799

第四表ノ二 愛讀新聞調(官營・民營工場別表)

主なる新聞	性別		少年		青年		成人		計	
	男	女	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
東京日日新聞	111	188	388	500	495	1,595	188	350	315	1,682
東京朝日新聞	105	153	338	441	324	1,299	153	284	207	1,206
讀賣新聞	75	109	265	265	199	961	75	109	200	639
報知新聞	10	23	103	103	119	357	141	213	77	1,222
時事新報	10	23	43	43	37	129	37	44	2	75
國民新聞	11	24	43	43	39	140	39	44	14	192
東京毎夕新聞	5	11	18	18	15	49	15	27	2	75
都新新聞	1	3	3	3	2	15	3	3	1	33
中外商業新報	1	3	3	3	2	15	3	3	1	33
無記入	4	7	4	4	6	25	4	7	1	33
調査人員	334	633	1,068	1,073	1,127	3,712	301	350	413	6,749
計	334	633	1,068	1,073	1,127	3,712	301	350	413	6,749

新聞記事調

新聞記事調以下の欄では、何れも一人で二つ以上の項目に亘つてゐるものが多い。新聞記事では官營・民營共に、年齢によつて多少の變動を見るが大差はなく、男子では社會、スポーツ、政治欄の順序に首位を占め、女子では社會、家庭、小説の順になつてゐる。

第五表ノ一 新聞記事調(總括表)

Table with columns for gender (男/女), age group (少年期, 青年期, 成人期), and category (政治, 社會, 經濟, etc.). Includes sub-columns for '前' and '後' periods and '計' (total). Includes a percentage ratio column for '調査人員'.

項目として擧げたものうち文藝欄を小説等と區別したのは、特に文學論の如きものに就いて見ようとしたためである。大眾文藝は特に時代物ともいふべき通俗小説を指したのである。無記入は男子六多弱、女子は一四%で、愛讀新聞調の場合より何れも多くなつてゐる。

第五表ノ二 新聞記事調(官營・民營工場別表)

Table with columns for gender (男/女), age group (少年期, 青年期, 成人期), and category (政治, 社會, 經濟, etc.). Includes sub-columns for '前' and '後' periods and '計' (total). Includes a percentage ratio column for '調査人員'.

女子に於ては、やはり婦人雑誌が壓倒的で、特に婦人倶楽部、主婦之友が多い。前者は二九%、後者は二五%の讀者を有つてゐる。このうちには勿論兩者を共に愛讀するものも含まれてゐるのである。科學的なもの、思想・社會問題に關するものは殆んどない。

讀まないものは總數の一四%で、男子に比して遙かに少いのは婦人雑誌といふものがあるためであらう。

雑誌記事調

雑誌記事調項目中、第一の論説・時事問題、第七の映畫・音樂・演劇・その他娛樂に關する記事、第八の宗教・修養はそれぞれ一括し、一部門において二つ以上舉げたものもすべて一として計算した。

男子にあつては全體として、論説・時事問題、職業技術に關する記事の順に首位を占めてゐる。年齢別に見れば、少年期では偉人傳、立志傳の順に最も多く小説、娛樂に關する記事が之に次いでゐるに對し、青年期以後では常に論説・時事問題が首位にある。科學記事は各期を通じて、かなり多い。

女子にあつては、小説が壓倒的に多く、實話ものが之に次いでゐる。女子の小説を讀む態度も窺はれるやうである。偉人傳が成人後期に於て首位にあるのは、恐らく母としての教育的關心を示すものであらうが、興味ある所である。

無記入は女子に於て大差はないが、男子に於て、愛讀雑誌調の場合に比べて餘程減少してゐるのは、一定の雑誌を讀まなくとも、雑誌を讀む機會のあるもののかなりあることを示してゐるのであらう。

第七表ノ一 雑誌記事調(總括表)

記事	性別		年齢		成人		計	調査人員 =對スル 百分比	性別		年齢		成人		計	調査人員 =對スル 百分比		
	男	女	少年期	青年期	前	後			少年期	青年期	前	後	少年期	青年期			前	後
一 論説・時事問題	194	177	194	177	194	177	194	177	194	177	194	177	194	177	194	177		
二 文藝	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107		
三 實業	176	151	176	151	176	151	176	151	176	151	176	151	176	151	176	151		
四 保健衛生記事	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107		
五 職業・技術	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107		
六 映畫・音樂・演劇	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107		
七 娛樂・遊藝	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107		
八 宗教・修養	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107		
九 偉人傳	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107		
一〇 立志傳	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107		
一一 利殖の志	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107		
一二 無利の志	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107		
一三 調査人員	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107	112	107		

第七表ノ二 雜誌記事調(官營・民營工場別表)

記事	性別		官營工場		民營工場		官營工場		民營工場	
	少年期	青年期	成人期	計	少年期	青年期	成人期	計	少年期	青年期
一 論説・時事問題	七	二二	六〇	八九	一七	六六	八六	一〇九	三三	四六
二 文藝	三三	三三	三三	九九	二七	二七	五四	八〇	二二	二二
三 實業	七	二二	二二	五一	一〇	一〇	二〇	三〇	一〇	一〇
四 保健衛生	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
五 職業技術	一	一	一	三	一	一	二	三	一	一
六 科楽・音楽・演劇	一	一	一	三	一	一	二	三	一	一
七 娯楽・遊藝・演劇	一	一	一	三	一	一	二	三	一	一
八 宗教・修業	一	一	一	三	一	一	二	三	一	一
九 偉人傳	一	一	一	三	一	一	二	三	一	一
一〇 立憲志	一	一	一	三	一	一	二	三	一	一
一一 利殖の志	一	一	一	三	一	一	二	三	一	一
一二 無利の志	一	一	一	三	一	一	二	三	一	一
計	九三	二二	一〇	一二五	二七	二七	五四	八〇	二二	二二

「面白く讀んだ本」調

「面白く讀んだ本」の名を挙げさせたのは次の「讀みたいと思ふ本」の名を挙げさせたのと共に、勞務者の讀書の程度、傾向を最も端的に明確に知らうとしたものであるが、何れも無記入が極めて多い。之は大體讀書に對する關心、要求の弱く明確でないことを示すものと見られる。

第八表ノ一「面白く讀んだ本」調(總括表)

種別	年齢	性別		少年期		青年期		成人期		計
		男	女	前	後	前	後	前	後	
第一 倫理・宗教	少年期	一〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一〇
第二 歴史・地理	少年期	六〇	二九	〇	〇	〇	〇	〇	〇	八九
第三 政治・経済	少年期	二八	三〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	五八
第四 社會・教育	少年期	一三	三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一六
第五 理學・醫學	少年期	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一
第六 美術・技術	少年期	六	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	六
第七 文藝	少年期	一三九	二七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一六六
第八 運動・遊戯・娛樂	少年期	六	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	七
第九 學習	少年期	九	四	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一三
第十 無記名	少年期	七五四	一七五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	九二九
計	少年期	九三	二九	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一二二

「面白く読んだ本」では男子の無記入は八四%弱。従つて僅かに一六%強に就いて分類したにすぎない結果となつた。女子の無記入は八二%強である。解答者について見れば男女共文學書が壓倒的に多く、歴史・傳記・地誌記行の部門が之に次いでゐる。

第八表ノ二「面白く読んだ本」調（官營・民營工場別表）

種別	性別	年齢	工場		計
			男		
			官營	民營	
第一 哲學・心理・倫理・宗教・政治・經濟・地理・歴史・傳記・社會・教育・軍事・法學・醫學・工業・農學・美術・技術・文藝・遊藝・娛樂・運動・習習・無記入・調査人員	男	少年期	101	101	202
		青年期	101	101	202
	成人期	前期	101	101	202
		後期	101	101	202
	計	少年期	101	101	202
		青年期	101	101	202
	女	少年期	101	101	202
		青年期	101	101	202
	成人期	前期	101	101	202
		後期	101	101	202
計	少年期	101	101	202	
	青年期	101	101	202	

「讀みたいと思ふ本」調（一）

之は次の「讀みたいと思ふ本」調（二）と關聯し、特にその要求の最も明確に現れた所を捉へようとしたのであるが、前述の如く、無記入が多く讀書要求の餘り強く明確でないことを示したにすぎない。男子は無記入が八七%弱、女子は八四%強である。男女を通じて文學書が多いが、男子にあつては第四部門の自然科学的なのが第二部門をわづかながら凌いでゐる點に多少の相違が見られる。

第九表ノ一「讀みたいと思ふ本」調（一）總括表

種別	性別	年齢	工場		計
			男		
			官營	民營	
第一 哲學・心理・倫理・宗教・政治・經濟・地理・歴史・傳記・社會・教育・軍事・法學・醫學・工業・農學・美術・技術・文藝・遊藝・娛樂・運動・習習・無記入・調査人員	男	少年期	101	101	202
		青年期	101	101	202
	成人期	前期	101	101	202
		後期	101	101	202
	計	少年期	101	101	202
		青年期	101	101	202
	女	少年期	101	101	202
		青年期	101	101	202
	成人期	前期	101	101	202
		後期	101	101	202
計	少年期	101	101	202	
	青年期	101	101	202	

第九表ノ二「讀みたいと思ふ本」調(一)官營・民營工場別表

種別	年齢	性別		計
		工場		
		官營	民營	
第一 哲學・心理・倫理・宗教・史記・地理・政治・法律・經濟・社會・教育・軍事・醫學・工業・農學・美術・技術・文藝・運動・遊戯・娛樂・學習・無記入	少年期	男	女	計
	青年期	男	女	計
	成人期	男	女	計
	前期	男	女	計
	後期	男	女	計
	計	男	女	計
	少年期	男	女	計
	青年期	男	女	計
	成人期	男	女	計
	前期	男	女	計
	後期	男	女	計
	計	男	女	計

「讀みたいと思ふ本」調(二)

之は「讀みたいと思ふ本」につきトピックスをや、詳細に舉げて、解答を求めたのであるが、無記入は男子一四%強、女子二一%強に止まり、前の書名を挙げさせた場合と異り、多少漠然ながら讀書の要求の存することは見られ、同時にその傾向も知られる。

男子にあつては全體としては、職業技術に関する本の場合が三〇%強で最高、軍事國防、スポーツ、講談落語、自然科学修養、歴史の順になつてゐる。年齢別に見れば、少年期だけは軍事國防に関する本が最も多く、職業技術に関するものは第三位になつてゐる。軍事國防に関する本の多いのは時勢の然らしめる所であらう。

女子にあつては小説が二九%強で最高、講談落語、映畫、修養、歴史の順になつてゐる。職業技術に関する本への要求がわづか八%弱で、男子に比して遙かに少いのは、その職業に對する男女の關心の差異を示すものでもあらう。自然科学に関するものも男子の場合の五分の一に充たない。

993) 1010
 993
 170
 0.09
 2186) 19900
 189
 2186) 19900
 1964
 0.24
 2287) 5600
 4578
 10220
 0.11
 2582) 2980
 2582
 3980
 2
 0.17
 3272) 5600
 3272
 23580
 0.31
 3230
 3039
 1910
 0.47
 411) 1970
 1648
 3260

調査人員	無學醫衛自技職活講										隨俳詩戲小文傳		史歴	
	入書	學生	學術	業語	談筆	句歌	曲說	學記	洋	洋	本	西	東	日
九九三	一一一	二二二	三三三	四四四	五五五	六六六	七七七	八八八	九九九	一〇一〇	一一一一	一二一二	一三一三	一四一四
九九三	一一一	二二二	三三三	四四四	五五五	六六六	七七七	八八八	九九九	一〇一〇	一一一一	一二一二	一三一三	一四一四
九九三	一一一	二二二	三三三	四四四	五五五	六六六	七七七	八八八	九九九	一〇一〇	一一一一	一二一二	一三一三	一四一四
九九三	一一一	二二二	三三三	四四四	五五五	六六六	七七七	八八八	九九九	一〇一〇	一一一一	一二一二	一三一三	一四一四
九九三	一一一	二二二	三三三	四四四	五五五	六六六	七七七	八八八	九九九	一〇一〇	一一一一	一二一二	一三一三	一四一四
九九三	一一一	二二二	三三三	四四四	五五五	六六六	七七七	八八八	九九九	一〇一〇	一一一一	一二一二	一三一三	一四一四
九九三	一一一	二二二	三三三	四四四	五五五	六六六	七七七	八八八	九九九	一〇一〇	一一一一	一二一二	一三一三	一四一四
九九三	一一一	二二二	三三三	四四四	五五五	六六六	七七七	八八八	九九九	一〇一〇	一一一一	一二一二	一三一三	一四一四
九九三	一一一	二二二	三三三	四四四	五五五	六六六	七七七	八八八	九九九	一〇一〇	一一一一	一二一二	一三一三	一四一四
九九三	一一一	二二二	三三三	四四四	五五五	六六六	七七七	八八八	九九九	一〇一〇	一一一一	一二一二	一三一三	一四一四

修日	教宗哲軍社濟法交政書美演映旅登										種別	性別
	本基佛神	國問	防題	律外	治樂	術劇	畫行	山	ツ	ス		
一〇九三	二二七	三二四	三二四	二四六	三六九	七四〇	四〇六	二〇三	一〇八	二七八	少年	男
二七九	一四七	一四一	一八一	一六五	二三五	一一七	一四三	三九八	三五七	六五七	青年	男
四九三	二一八	九六	一九二	一七五	三〇七	一一〇	一四九	四〇四	二八三	六〇二	成人	男
三九六	二四五	八〇	四七二	一六三	二〇九	三七	四六	九一	二七一	二〇九	後期	男
二七五	六三七	三六一	二二〇	五七二	五〇九	四九〇	八一八	四六一	九五二	八六一	計	男
一一八	七〇九	四七五	二七	六六	六三	〇二	五八	三九	一八	二一	子	男
一一八	七〇九	四七五	二七	六六	六三	〇二	五八	三九	一八	二一	少年	女
一七〇	二二五	五六	二四	四一	二八	一七	三八	一三	五〇	三八	青年	女
七四六	二二四	七七	二六	二〇	三三	九二	四七	二七	七〇	九二	成人	女
一七五	四一六	一五	六一	三二	二九	一一	二七	一四	七一	七四	後期	女
三七五	二一	六八	六	二二	二二	一三	五	一	二	三	計	女
一五二	三六七	一一	三三	三〇	二六	一五	七六	四三	四六	三	子	女
一六七	五四	一八	〇	四	三	二	一	〇	九	四	少年	女
一六七	五四	一八	〇	四	三	二	一	〇	九	四	青年	女
一六七	五四	一八	〇	四	三	二	一	〇	九	四	成人	女
一六七	五四	一八	〇	四	三	二	一	〇	九	四	後期	女
一六七	五四	一八	〇	四	三	二	一	〇	九	四	計	女
一六七	五四	一八	〇	四	三	二	一	〇	九	四	子	女

第十表ノ一「讀みたいと思ふ本」調(二)總括表

第十表ノ二「讀みたいと思ふ本」調(一)官營・民營工場別表

種別	性別	工場	少年期		青年期		計	
			前	後	前	後		
			人	人	人	人		
ス ポ ー ツ	男	官 營	少年期	103	103	103	103	103
			青年期	103	103	103	103	103
			前	103	103	103	103	103
			後	103	103	103	103	103
			計	103	103	103	103	103
			少年期	103	103	103	103	103
			青年期	103	103	103	103	103
			前	103	103	103	103	103
			後	103	103	103	103	103
			計	103	103	103	103	103
			少年期	103	103	103	103	103
			青年期	103	103	103	103	103
			計	103	103	103	103	103
ス ポ ー ツ	女	官 營	少年期	100	100	100	100	100
			青年期	100	100	100	100	100
			前	100	100	100	100	100
			後	100	100	100	100	100
			計	100	100	100	100	100
			少年期	100	100	100	100	100
			青年期	100	100	100	100	100
			前	100	100	100	100	100
			後	100	100	100	100	100
			計	100	100	100	100	100
			少年期	100	100	100	100	100
			青年期	100	100	100	100	100
			計	100	100	100	100	100

種別	性別	工場	少年期		青年期		計	
			前	後	前	後		
			人	人	人	人		
修 歴 史	男	官 營	少年期	103	103	103	103	103
			青年期	103	103	103	103	103
			前	103	103	103	103	103
			後	103	103	103	103	103
			計	103	103	103	103	103
			少年期	103	103	103	103	103
			青年期	103	103	103	103	103
			前	103	103	103	103	103
			後	103	103	103	103	103
			計	103	103	103	103	103
			少年期	103	103	103	103	103
			青年期	103	103	103	103	103
			計	103	103	103	103	103
修 歴 史	女	官 營	少年期	100	100	100	100	100
			青年期	100	100	100	100	100
			前	100	100	100	100	100
			後	100	100	100	100	100
			計	100	100	100	100	100
			少年期	100	100	100	100	100
			青年期	100	100	100	100	100
			前	100	100	100	100	100
			後	100	100	100	100	100
			計	100	100	100	100	100
			少年期	100	100	100	100	100
			青年期	100	100	100	100	100
			計	100	100	100	100	100

以上に於て讀書の内容に關する所は終り、以下は讀書のいはば外的事情に關するものである。この讀書情況を調べるにつ

別表

従業時間	工場数
八時間三〇分以上	二
九時間未滿	四
九時間ヲ越エ	四
九時間三〇分迄	二
〇時間	一
二時間	一

いては、勞務者の従業時間、會社工場の讀書に關する施設等を一應顧慮する必要がある。

今回の調査に當つては、各工場に對し、これらの事項に關する報告を求めたのであるが、解答のあつたものにつき、之を見るに

十三工場に於て従業時間は別表の如く、最高十二時間、最少八時間三十分、休憩は三十分乃至一時間十五分、始業は午前七時乃至八時（交替勤務を除く）終業は午後四時乃至七時である。休日は毎月二回乃至日曜祭日毎に至つてゐる。圖書閱覽施設の有るもの十四工場中八工場、讀書會のあるもの一工場である。

「読む時」調

新聞 新聞を「読む時」に於ては無記入は比較的少く、男子は五%弱、女子は一一%弱である。休日に読む者が多くなつてゐるが、新聞を特に休日に読むといふことも考へられず、事實休日に印を付したものは、多く同時に他に印を付してゐるので、新聞の場合休日は除外して差支へないやうである。

最も多いのは就寝前で、男子は五七%、女子は五〇%弱に達してゐる。出勤前に読むものが男子において四六%強で次位であるに對し、女子にあつては少ないのは、炊事等の關係によるのであらう。

第十一表ノ一 新聞「読む時」調（總括表）

時刻別	性別		子		女		子	
	少年期	青年期	成人前期	成人後期	少年期	青年期	成人前期	成人後期
休 日	三九八	九六一	一、一三三	一、二〇二	二二二	一、一八二	三三三	二、二六三
休 憩 時 間	八一	三三〇	五七五	一、一三三	一八一	一、一三七	一七七	一、一三三
休 勤 前	二〇二	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三
出 勤 前	三三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三
終 業 後	三三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三
就 業 前	三三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三
無 記 入	三三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三
調 査 人 員	三三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三
	計	計	計	計	計	計	計	計
	三三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三
	百分比	百分比	百分比	百分比	百分比	百分比	百分比	百分比
	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇

第十一表ノ二 新聞「読む時」調(官營・民營工場別表)

時刻	性別	工場	年齢	官營工場		民營工場		計	
				女		子			
				少年	青年	少年	青年		
休日			一六五	五三二	二二二	四〇〇	二七七	二四九	一、九三三
休憩時間			四七五	二四七	三三三	四七〇	八七	三〇七	二、〇七三
出勤前			二一八	五三七	二八〇	六二七	二七五	八九	三、〇七三
終業後			六八	二五九	一六四	三三三	一五五	五五八	二、〇七三
就寝前			一六四	六二二	三三三	五九〇	一七三	二七五	三、〇七三
無記入			一三	三九	二六	五三	二五	三九	一、四一三
調査人員			三三	九二	二二	五三	二五	三九	一、四一三
計			三三	九二	二二	五三	二五	三九	一、四一三

雜誌 無記入は男子において二二%強で新聞の場合より多少多くなつてゐるのは、雑誌を読まないものが多少多いことを示すものであらう。然し愛読雜誌調の場合に比して見るに、可なり少くはなつてゐる。女子においては一〇%弱で餘り變つてゐない。男女を通じて休日、就寝前の順である。

第十二表ノ一 雜誌「読む時」調(總括表)

時刻	性別	年齢	男		女		計	
			子		子			
			少年	青年	少年	青年		
休日			五八三	一、二六八	一、一八二	二、四四八	三、二六七	四八・五
休憩時間			二二五	二三八	二一〇	四二八	六三〇	四八・五
出勤前			三九	八四	一〇五	一四四	二二二	四八・五
終業後			一四四	三五三	二二六	五八〇	八〇六	四八・五
就寝前			五二〇	一、一七一	六九七	一、二二七	二、〇二四	四八・五
無記入			九〇	二九三	一、二二五	一、六〇八	二、〇〇〇	四八・五
調査人員			九三	二八六	一、一八五	一、五六〇	二、〇〇〇	四八・五
計			九三	二八六	一、一八五	一、五六〇	二、〇〇〇	四八・五

第十二表ノ二 雑誌「読む時」調(官營・民營工場別表)

時刻	性別	年齢	官營工場		民營工場		計
			前	後	前	後	
休日	男	少年	三三二	六三三	三六	五九六	三三二
休日	男	青年	一八八	九六六	六二	九〇	二九一
休日	男	成人	二六三	五九三	六八二	四三	二七一
休日	男	計	一六七	六八二	一六七	一六七	四三
休日	女	少年	六二	三六	三六	三六	三六
休日	女	青年	九〇	五九六	六二	九〇	三六
休日	女	成人	一六七	五九三	六八二	四三	二七一
休日	女	計	一六七	六八二	一六七	一六七	四三
休日	男	少年	三三二	六三三	三六	五九六	三三二
休日	男	青年	一八八	九六六	六二	九〇	二九一
休日	男	成人	二六三	五九三	六八二	四三	二七一
休日	男	計	一六七	六八二	一六七	一六七	四三
休日	女	少年	六二	三六	三六	三六	三六
休日	女	青年	九〇	五九六	六二	九〇	三六
休日	女	成人	一六七	五九三	六八二	四三	二七一
休日	女	計	一六七	六八二	一六七	一六七	四三
休日	男	少年	三三二	六三三	三六	五九六	三三二
休日	男	青年	一八八	九六六	六二	九〇	二九一
休日	男	成人	二六三	五九三	六八二	四三	二七一
休日	男	計	一六七	六八二	一六七	一六七	四三
休日	女	少年	六二	三六	三六	三六	三六
休日	女	青年	九〇	五九六	六二	九〇	三六
休日	女	成人	一六七	五九三	六八二	四三	二七一
休日	女	計	一六七	六八二	一六七	一六七	四三

單行本 無記入はかなり多く男子は四四%強、女子は四一%強である。單行本による讀書の少いことに應ずるものであらう。読む者について見れば雑誌の場合と同じく、男女共休日、就寝前の順である。

第十三表ノ一 單行本「読む時」調(總括表)

時刻	性別	年齢	男		女		計
			前	後	前	後	
休日	男	少年	一、八一	九三三	一、八一	九三三	二、一四四
休日	男	青年	一、六七	一、六七	一、六七	一、六七	三、三三四
休日	男	成人	一、六七	一、六七	一、六七	一、六七	三、三三四
休日	男	計	一、六七	一、六七	一、六七	一、六七	三、三三四
休日	女	少年	一、八一	九三三	一、八一	九三三	二、一四四
休日	女	青年	一、六七	一、六七	一、六七	一、六七	三、三三四
休日	女	成人	一、六七	一、六七	一、六七	一、六七	三、三三四
休日	女	計	一、六七	一、六七	一、六七	一、六七	三、三三四
休日	男	少年	一、八一	九三三	一、八一	九三三	二、一四四
休日	男	青年	一、六七	一、六七	一、六七	一、六七	三、三三四
休日	男	成人	一、六七	一、六七	一、六七	一、六七	三、三三四
休日	男	計	一、六七	一、六七	一、六七	一、六七	三、三三四
休日	女	少年	一、八一	九三三	一、八一	九三三	二、一四四
休日	女	青年	一、六七	一、六七	一、六七	一、六七	三、三三四
休日	女	成人	一、六七	一、六七	一、六七	一、六七	三、三三四
休日	女	計	一、六七	一、六七	一、六七	一、六七	三、三三四

$$\begin{array}{r} 14799 \\ 7 \\ \hline 14800 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 54410 \\ 48397 \\ \hline 10630 \\ 98693 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 36126 \\ 29600 \\ \hline 65240 \end{array}$$

第十三表ノ二 單行本「讀む時」調(官營・民營工場別表)

時刻	性別		官營工場		民營工場		官營工場		民營工場	
	年	場	少年期	青年期	成人前期	成人後期	少年期	青年期	成人前期	成人後期
休日			三七	五七五	七〇五	三五六	三三	六六六	一四九	二九四
休憩時間			五三	一〇八	二四四	八一	四八五	五九	五九	二〇
出勤前			九	三〇	五六	三三	二七	四八	三五	二〇
終業後			五三	一九八	二〇四	三三	二七	二五	一四	一四
就寝前			六六	四〇〇	五三五	二四二	一七	一七	一〇	一〇
無記入			四三	三三〇	九八二	二九三	二七	四五四	二七	二七
調査人員			三四一	〇九九	九八二	七五五	六九一	〇八七	六三三	五三三

「讀む處」調

新聞・雑誌・單行本を通じて、無記入は、「讀む時」調の場合と大體は一致してゐるが、嚴密に一致しないのは、讀む機會の極めて少いものの多少ある所から來た動搖であらうと推測される。

自宅から寄宿舍まではその居所を示して、一人一項に限られてゐるから、住居において讀むものとして、一括して考察第十四表ノ一 新聞「讀む處」調(總括表)

場所	性別		少年期		青年期		成人前期		成人後期		計		百分比	
	年	場	少年期	青年期	成人前期	成人後期	少年期	青年期	成人前期	成人後期	計	百分比	少年期	青年期
自宅			七六五	一、一六七	三三〇	一、二七三	一、四〇八	一、一七三	一、一七三	一、一七三	一、一七三	一、一七三	一、一七三	一、一七三
下宿			七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
宿泊所			四	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
寄宿舍			五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
工場附屬圖書室			一五	五	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一
其他工場内			六七	一七七	一七	三三七	三六八	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七
圖書館			一七	二五	三	三三	六	六	六	六	六	六	六	六
無記入			一一	一四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
調査人員			九九五	二、一八六	二、一八六	二、一八六	二、一八六	二、一八六	二、一八六	二、一八六	二、一八六	二、一八六	二、一八六	二、一八六

することができる。

新聞 無記入は男子一・一%弱、女子は一・二%強である。その住居に於て読むものは、男子に於て七七%強、女子において八三%弱、従つて主として住居以外において読むものは男子一二%女子五%弱となるわけである。

第十四表ノ二 新聞「読む處」調(官營・民營工場別表)

場所	性別		官營工場				民營工場			
	少年	青年	前期	成人	計	少年	青年	前期	成人	計
自宅	二八三	八五〇	一、六九一	三、七六四	四、四五五	八三三	一、七九七	二、三三三	四、一三〇	五、九六〇
下宿	一一三	一三三	六四	五	一一八	一七	三三	五〇	一〇〇	一三〇
寄宿舎	五	四	一	五	一〇	一	一	二	二	三
工場附屬	一〇	三	三	七	一〇	一	一	一	一	二
工場内	三二	三三	三二	七六	一三四	四八	一一	一四	九二	一五六
其他工場	一〇	三	三	七	一〇	一	一	一	一	二
圖書館	七	二	一	四	七	一	一	一	一	二
無記入	一五	八	一六	九	四九	九	一	二	一	一二
調査人員	三三	一、〇九	一、九〇	七、五九	一、一〇	六、四九	一、〇七	五、四二	一、一〇	七、五九
計	三三	一、〇九	一、九〇	七、五九	一、一〇	六、四九	一、〇七	五、四二	一、一〇	七、五九

雜誌 無記入は男子三〇%弱、女子一二%強である。住居に於て読むものは男子五九%弱、女子六七%弱である。女子の工場内で読むもの多くなつてゐるのは、注意すべきであらう。

第十五表ノ一 雜誌「読む處」調(總括表)

場所	性別		男子				女子			
	少年	青年	前期	成人	計	少年	青年	前期	成人	計
自宅	七七	一、四七	一、五三	七、四三	九、九三	一、四〇	一、七〇	二、〇七	三、一三	五、九〇
下宿	七	二六	三三	一、八	二六	二	三	六	一	一〇
寄宿舎	二	一一	一三	一	一五	一	一	一	一	三
工場附屬	五	四	一	一	一	一	一	一	一	三
工場内	一三	一四	一三	二九	六九	一三	一六	一七	二七	六三
其他工場	八	一〇	一三	一	三二	八	一〇	一三	一	三二
圖書館	三	六	七	一	一五	三	四	五	一	一三
無記入	二	一	一	一	五	一	一	一	一	四
調査人員	九	二、一八	二、五七	一、一八	六、〇二	一、〇七	一、二二	一、五二	二、一〇	五、九一
計	九	二、一八	二、五七	一、一八	六、〇二	一、〇七	一、二二	一、五二	二、一〇	五、九一

第十五表ノ二 雑誌「読む處」調(官營・民營工場別表)

場所	性別	年齢	官營工場		民營工場		官營工場		民營工場	
			成人		成人		成人		成人	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
自宅	男	少年	264	74	463	78	572	334	572	334
下宿	男	少年	10	11	61	19	2	2	2	
宿舎	男	少年	1	1	1	1	1	1	1	
工場附	男	少年	4	3	1	1	1	1	1	
工場内	男	少年	8	27	5	9	1	1	1	
其他工場内	男	少年	6	27	4	9	1	1	1	
圖書館	男	少年	13	17	25	33	19	27	33	
無記入	男	少年	29	58	95	147	19	64	73	
調査人員	男	少年	334	991	691	1,087	633	1,944	532	
計	男	少年	334	1,087	691	1,087	633	1,944	532	
自宅	女	少年	264	74	463	78	572	334	572	334
下宿	女	少年	10	11	61	19	2	2	2	
宿舎	女	少年	1	1	1	1	1	1	1	
工場附	女	少年	4	3	1	1	1	1	1	
工場内	女	少年	8	27	5	9	1	1	1	
其他工場内	女	少年	6	27	4	9	1	1	1	
圖書館	女	少年	13	17	25	33	19	27	33	
無記入	女	少年	29	58	95	147	19	64	73	
調査人員	女	少年	334	991	691	1,087	633	1,944	532	
計	女	少年	334	1,087	691	1,087	633	1,944	532	

單行本 無記入は男子四三%強、女子四五%弱、「読む時」調、「読む處」調を通じて無記入は極めて多い。圖書館の利用は、餘暇の少いことから當然ながら極めて少く、男子五%弱、女子二%弱にすぎない。

第十六表ノ一 單行本「読む處」調(總括表)

場所	性別	年齢	男		女		男		女	
			成人前期		成人後期		成人前期		成人後期	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
自宅	男	少年	653	1,232	1,170	600	3,685	45.8	963	1,057
下宿	男	少年	6	26	6	5	10	5.1	11	
宿舎	男	少年	2	1	1	1	1	0.1	1	
工場附	男	少年	5	5	1	1	1	0.1	1	
工場内	男	少年	2	15	1	1	1	0.1	1	
其他工場内	男	少年	2	15	1	1	1	0.1	1	
圖書館	男	少年	27	34	44	52	101	1.7	131	
無記入	男	少年	152	284	85	128	373	4.4	545	
調査人員	男	少年	993	2,186	1,588	1,169	5,800	100.0	7,001	
計	男	少年	993	2,186	1,588	1,169	5,800	100.0	7,001	
自宅	女	少年	653	1,232	1,170	600	3,685	45.8	963	1,057
下宿	女	少年	6	26	6	5	10	5.1	11	
宿舎	女	少年	2	1	1	1	1	0.1	1	
工場附	女	少年	5	5	1	1	1	0.1	1	
工場内	女	少年	2	15	1	1	1	0.1	1	
其他工場内	女	少年	2	15	1	1	1	0.1	1	
圖書館	女	少年	27	34	44	52	101	1.7	131	
無記入	女	少年	152	284	85	128	373	4.4	545	
調査人員	女	少年	993	2,186	1,588	1,169	5,800	100.0	7,001	
計	女	少年	993	2,186	1,588	1,169	5,800	100.0	7,001	

第十七表ノ二 買・借調(官營・民營工場別表)

種別	新		開		雜		誌		單		行		本		調査人員	
	買	借	買	借	買	借	買	借	買	借	買	借	買	借		
官營工場	少年期	青年期	前	後	計	少年期	青年期	前	後	計	少年期	青年期	前	後	計	
	成人期	計	少年期	青年期	前	後	計	少年期	青年期	前	後	計	少年期	青年期	前	後
民營工場	少年期	青年期	前	後	計	少年期	青年期	前	後	計	少年期	青年期	前	後	計	
	成人期	計	少年期	青年期	前	後	計	少年期	青年期	前	後	計	少年期	青年期	前	後
官營工場	少年期	青年期	前	後	計	少年期	青年期	前	後	計	少年期	青年期	前	後	計	
	成人期	計	少年期	青年期	前	後	計	少年期	青年期	前	後	計	少年期	青年期	前	後
民營工場	少年期	青年期	前	後	計	少年期	青年期	前	後	計	少年期	青年期	前	後	計	
	成人期	計	少年期	青年期	前	後	計	少年期	青年期	前	後	計	少年期	青年期	前	後

「借りる處」調

この調査は買・借調に見られた主として借りる者に限つて解答を求めたものではなく、一般に借りる場合について解答を求めたのである。然し關聯せしめて見るべきは言ふまでもない。

第十八表ノ一 新聞「借りる處」調(總括表)

場所	少年期		青年期		成人前期		成人後期		計	百分比	少年期		青年期		成人前期		成人後期		計	百分比
	男	女	男	女	男	女	男	女			男	女	男	女	男	女	男	女		
圖書館	二八	九〇	四三	一九	一八〇	二・三	六三	二五	二・三	六三	二五	二	四	二四	一・八	一・八	二四	一・八	二四	一・八
貸本屋	六	二六	一八	一	六五	〇・八	七	二	〇・八	七	二	二	二	二	二	二	二	二	二	〇・八
巡回文庫	一	八	九	六	二二	〇・三	一	一	〇・三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	〇・三
同文庫	七	一六	二二	八	三三	〇・四	一	一	〇・四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	〇・四
會社工場	六	一六	二二	八	三三	〇・四	一	一	〇・四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	〇・四
閉屬圖書室	二五	五八	四二	二七	一三〇	一・五	一〇	三	一・五	一〇	三	二	三	三	二	三	三	三	二	一・五
知泊所	四九	一一	三三	六	一〇九	一・三	四	一	一・三	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一・三
宿泊所	二二	一一	三三	六	一〇九	一・三	四	一	一・三	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一・三
無記入	六七	一四	二一	三	八五	一・〇	一	一	一・〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一・〇
調査人員	九九	二一	二六	三	一〇〇	一・二	一	一	一・二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一・二

第十八表ノ二 新聞「借りる處」調(官營・民營工場別表)

場所	官營工場		民營工場		計	百分比
	男		女			
	少年期	成人期	少年期	成人期		
圖書館	一四	二五	一四	一八	五〇	一〇・九
貸本屋	九	二二	一七	一四	五二	一〇
巡回文庫	二	四	六	四	一六	一・四
同覽	一	一	一	一	二	二・二
會社工場	一	一	一	一	二	二・二
附屬圖書室	六	一三	一	一	一〇	一・〇
知泊所	二五	一七	一	一	三六	三・六
宿泊所	九	四	一	一	一五	一・五
無記入	一八九	七六	七三	七三	一六九	一六・九
調査人員	三二	一〇	六	三	五一	五・一
計	一四一	一三三	一〇一	八三	三二六	三二・六
百分比	四三	四〇	三〇	二七	三二	三・二

第十九表ノ一 雑誌「借りる處」調(總括表)

場所	官營工場		民營工場		計	百分比
	男		女			
	少年期	成人期	少年期	成人期		
圖書館	八〇	一三〇	八六	一四〇	二二〇	二二・〇
貸本屋	二七	七五	五	一一〇	一四〇	一四・〇
巡回文庫	四	一六	一	一〇	二一	二・一
同覽	一	一	一	一	二	二・二
會社工場	一	一	一	一	二	二・二
附屬圖書室	二〇	四七	一〇	一〇	六七	六・七
知泊所	四六	八八	一	一	一三六	一三・六
宿泊所	一七	三七	一	一	五六	五・六
無記入	四四八	一、一八三	二、三二八	一、〇〇〇	四、七五九	四七・六
調査人員	九三	二、一八六	一、〇八〇	一、〇一〇	三、二〇九	三二・一
計	一、一五三	三、一七二	一、四九一	一、六二一	三、二八四	三二・八
百分比	三六	三六	四六	四一	三二	三・二

無記入は新聞において男子七八%弱、女子六三%強、雑誌においては男子六六%強に對し、女子は三三%弱、單行本においては男子六九%弱、女子五五%強である。女子の割合が男子の場合に比して遙かに少いのは注意すべきであらう。無記入は全然讀まないもの及びもつばら買って讀むものの兩者を含み、しかも讀まないものは雑誌、單行本と次第に増加してゐるの言ふまでもない。特に賃借調の結果を参照して見るべきであらう。

第十九表ノ二 雑誌「借りる處」調(官營・民營工場別表)

場所	性別	工場	少年期		青年期		成人前期		成人後期		計
			前	後	前	後	前	後	前	後	
			少年期		青年期		成人前期		成人後期		
圖書館	男	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
圖書館	男	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
圖書館	女	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
圖書館	女	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
貸本屋	男	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
貸本屋	男	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
巡回文庫	男	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
巡回文庫	男	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
巡回文庫	女	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
巡回文庫	女	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
會社工場	男	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
會社工場	男	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
會社工場	女	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
會社工場	女	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
附屬圖書室	男	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
附屬圖書室	男	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
附屬圖書室	女	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
附屬圖書室	女	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
知泊所	男	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
知泊所	男	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
知泊所	女	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
知泊所	女	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
無記入	男	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
無記入	男	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
無記入	女	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
無記入	女	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
調査人員	男	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
調査人員	男	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
調査人員	女	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
調査人員	女	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15

第二十表ノ一 單行本「借りる處」調(總括表)

場所	性別	年齢	少年期		青年期		成人前期		成人後期		計
			前	後	前	後	前	後	前	後	
			少年期		青年期		成人前期		成人後期		
圖書館	男	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
圖書館	男	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
圖書館	女	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
圖書館	女	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
貸本屋	男	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
貸本屋	男	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
貸本屋	女	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
貸本屋	女	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
巡回文庫	男	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
巡回文庫	男	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
巡回文庫	女	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
巡回文庫	女	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
會社工場	男	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
會社工場	男	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
會社工場	女	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
會社工場	女	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
附屬圖書室	男	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
附屬圖書室	男	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
附屬圖書室	女	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
附屬圖書室	女	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
知泊所	男	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
知泊所	男	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
知泊所	女	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
知泊所	女	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
無記入	男	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
無記入	男	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
無記入	女	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
無記入	女	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
調査人員	男	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
調査人員	男	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
調査人員	女	官營	15	15	15	15	15	15	15	15	15
調査人員	女	民營	15	15	15	15	15	15	15	15	15

借りる場合は知人——主として友人であらう——が最も多い。圖書館の利用の少いのはこゝにも現れてゐるが、會社工場附屬圖書室の利用の少いのは、この種の設備の不備なことを示すに外ならない。たゞ女子においてやゝ高率を示してゐる。

第二十表ノ二「借りる處」調(官營・民營工場別表)

場所	性別		官營工場		民營工場		官營工場		民營工場	
	年齢	期	少年	青年	少年	青年	少年	青年	少年	青年
圖書館	六	計	一五	九	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
貸本屋	八	計	三六	三	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
巡回文庫	五	計	四	七	一	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
同文庫	三	計	一〇	七	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
會社工場	一六	計	七	七	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
附屬圖書室	一五	計	七	七	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
知人	一五	計	七	七	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
宿泊所	四	計	一	一	一	一	一	一	一	一
無記入	一三	計	一	一	一	一	一	一	一	一
調査人員	三	計	一	一	一	一	一	一	一	一
計			三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三

最後に本調査はかなり多数の票につき、多数の事項に亘つて調べたため、時日の制限と人手の不足によつて多少の不備を免れぬ點もあると思ふ。前後對照の上適當に判讀せられんことを願ふ次第である。

読みですか	新		読みですか	新	
	買	借		買	借
○印をつけて下さい	新	借	新	借	新
主に買つてお読みですか	買	借	買	借	買
借りてお読みですか	借	買	借	買	借
○印をつけて下さい	新	借	新	借	新
借りる場合主に何所でお借りになりますか	新	借	新	借	新
○印をつけて下さい	新	借	新	借	新

本協會では皆様方の讀書の状態を御伺ひしたいと思ひます。つきましては御手数で恐入りますが左欄に御記入下さいまして、皆様の讀書の御模様を腹藏なく御知らせ下さいませやう御願ひいたします。

昭和十年十月

社団法人 日本圖書館協會

性 別 男・女	年 齡 歳	學 歴 ○印をつけて下さい	あなたの従事してゐられる作業	今の作業に從事する年數	平素讀んでゐられる新聞又は雑誌の名	新聞記事の中どのやうなところ特に興味をお持ちですか ○印をつけて下さい	あなたが最近讀まれた本の名とその著者の名	讀み度と思つてゐられる本の名と著者の名
		小學校〔尋常科〕卒業……………中途退學 高等科……………中途退學 實業補習學校……………中途退學 中等學校……………中途退學 專門學校以上……………中途退學 不就學……………中途退學	熟練を要する作業か否かのわかる程度に書いて下さい		新聞の名 雑誌の名	一 政治面 二 社會面(三面記事) 三 經濟面 四 スポーツ欄 五 家庭欄 六 娛樂欄(イ)映畫(ロ)音樂(ハ)演劇(ニ)寄席 七 學藝欄(イ)宗教欄(ロ)文藝欄(ハ)科學欄 八 (イ)小説(ロ)大衆文藝(ハ)講談 一 論說・時事問題 二 文藝(イ)小説(ロ)詩歌 (ハ)俳句(ニ)講談 三 實話 四 保健衛生記事 五 職業技術等に關する實用記事 六 科學に關する記事 七 映畫・音樂・演劇其他 娛樂に關する記事 八 宗教又は修養に關する記事 九 偉人傳 十 立志傳 十一 利殖の話	本の名 著者の名	本の名 著者の名

性 別		男・女		年 齡		歳			
<p>○印をつけて下さい</p> <p>あなたからの従事していただける作業</p> <p>今までの作業に就ける年数</p> <p>平素読んでおられる新聞又は雑誌の名</p> <p>新聞記事の中どのやうなところに特に興味をお持ちですか</p> <p>○印をつけて下さい</p> <p>あなたに最近面白く読まれた本の名と著者の名</p> <p>読み度いと思つておられる本の名と著者の名</p> <p>どんな種類の本を読み度いとお思ひですか</p> <p>○印をつけて下さい</p> <p>主にどんな時間にお読みですか</p> <p>○印をつけて下さい</p> <p>主にどこでお読みですか</p> <p>主に買つてお読みですか</p> <p>○印をつけて下さい</p> <p>借りる場合主に何所でお借りになりますか</p> <p>○印をつけて下さい</p>									
<p>小學校(尋常科)卒業 高等科卒業 實業補習學校卒業 中等學校卒業 專門學校以上卒業 不就學</p>		<p>熱練を要する作業か否かのわかる程度に書いて下さい</p>		<p>新聞の名 雑誌の名</p> <p>一 政治面 二 社會面(三面記事) 三 經濟面 四 スポーツ欄 五 家庭欄 六 娛樂欄(イ)映畫(ロ)音楽(ハ)演劇(ニ)寄席 七 學藝欄(イ)宗教欄(ロ)文藝欄(ハ)科學欄 八 (イ)小説(ロ)大衆文藝(ハ)講談</p>		<p>本の名 著者の名</p> <p>一 (イ)スポーツ(ロ)登山(ハ)旅行に關する本 二 (イ)映畫(ロ)演劇(ハ)美術(ニ)音楽に關する本 三 (イ)政治(ロ)外交(ハ)法律(ニ)經濟(ホ)社會問題(勞働問題)(ヘ)軍事・國防 四 (イ)哲學(ロ)宗教(神道・佛敎・基督教)(ハ)日本精神(ニ)修養に關する本 五 (イ)歴史(日本・東洋・西洋)(ロ)傳記 六 (イ)文學(ロ)小説(ハ)戯曲(ニ)詩歌(ホ)俳句 七 自分の職業又は技術に關する本 八 自然科學に關する本 九 衛生・醫學に關する本 十 學習書(講義録を含む)</p>		<p>新 聞 一 休日 二 休憩時間 三 出勤前 四 終業後 五 就寝前</p> <p>雜 誌 一 休日 二 休憩時間 三 出勤前 四 終業後 五 就寝前</p> <p>本 (圖書) 一 休日 二 休憩時間 三 出勤前 四 終業後 五 就寝前</p>	
<p>新聞</p> <p>(イ)圖書館 (ロ)貸本屋 (ハ)巡回文庫 (ニ)回覽 (ホ)會社工場附屬圖書室 (ト)知人宿泊所</p>		<p>雜誌</p> <p>(イ)圖書館 (ロ)貸本屋 (ハ)巡回文庫 (ニ)回覽 (ホ)會社工場附屬圖書室 (ト)知人宿泊所</p>		<p>本(圖書)</p> <p>(イ)圖書館 (ロ)貸本屋 (ハ)巡回文庫 (ニ)回覽 (ホ)會社工場附屬圖書室 (ト)知人宿泊所</p>		<p>新 聞</p> <p>一 (イ)自宅(ロ)下宿(ハ)宿泊所 (ニ)寄宿舍 二 (イ)工場附屬圖書室(ロ)その他工場内 三 圖書館</p> <p>雜 誌</p> <p>一 (イ)自宅(ロ)下宿(ハ)宿泊所 (ニ)寄宿舍 二 (イ)工場附屬圖書室(ロ)その他工場内 三 圖書館</p> <p>本(圖書)</p> <p>一 (イ)自宅(ロ)下宿(ハ)宿泊所 (ニ)寄宿舍 二 (イ)工場附屬圖書室(ロ)その他工場内 三 圖書館</p>			

昭和十一年三月二十八日印刷
昭和十一年三月三十一日發行

編輯者 社団法人 日本圖書館協會

印刷者 東京市神田區美土代町十一ノ七 德橋敏郎

印刷所 東京市神田區美土代町十一ノ七 夕カラ商會印刷部

發行所 東京市神田區三年町文部省內 社団法人 日本圖書館協會

振替東京二四一八一番

終

